

外郭団体中期経営計画シート(平成30年度～平成32年度)

外郭団体名	公益財団法人堺市文化振興財団	設立年月日	平成6年4月1日設立	所管課	文化観光局文化部文化課
-------	----------------	-------	------------	-----	-------------

1. 基本方針

設立目的	求める役割 【所管局】	外郭団体がめざすべき将来像
文化活動の振興及び地域文化の創造に資する事業を行い、市民文化生活的の向上と地域の発展に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> 堺市の文化芸術の創造発展を支える母体として、市の文化芸術施策と連携した文化事業を戦略的に展開することで、市民文化及び都市文化の振興、ひいては市の都市魅力や活力の向上に寄与する。 文化芸術そのものを振興する事業と、文化芸術を活用した事業を推進する先導的役割を担う。 	優れた文化芸術の鑑賞機会の提供、市民文化活動の支援、次代の文化芸術を担う人材育成などの事業を展開することにより、市民が文化芸術に親しみ、活発な活動が展開されるとともに、そのことを通じて内外に都市魅力を発信し、市民が誇りを感じるまちとなることをめざす。また、文化芸術の力を活用し、福祉や観光など社会的課題の解決につながる事業展開を行う。

2. 環境分析

外郭団体	所管局	外郭団体の対応方針
<ul style="list-style-type: none"> 堺には、世界文化遺産登録をめざし国内推薦に選定された百舌鳥古墳群をはじめ、多くの歴史文化資源が存在しており、古くから文化芸術が育まれてきた地域であり、現在も堺を拠点とする優れた芸術団体をはじめ幅広いジャンルの文化団体や市民が活動を展開している。 平成29年6月に文化芸術基本法が施行され、文化芸術の振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関係分野における施策との有機的な連携に努める必要がある。 現在、市の中枢文化施設であるフェニーチェ堺は建設中であるが、他の文化会館等については、文化芸術を継承し、創造し、及び発信する場であり、地域の文化拠点としての役割を果たす必要がある。 平成28年10月からフェニーチェ堺の指定管理を担い、平成31年秋のグランドオープンに向けて、堺市の文化振興の推進母体として、市の文化振興施策との整合性を図り、より一層質の高い、魅力のある事業を展開するとともに、安定的な法人経営を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術振興基本法が「文化芸術基本法」に改正され、文化芸術そのものの振興だけでなく、福祉や教育など関連分野の施策との連携を図ることが基本理念に加えられるとともに、国は「文化芸術推進基本計画」、地方公共団体においては「地方文化芸術推進基本計画」(努力義務)の策定が規定された。 本市においてはすでに、平成27年4月に自由都市堺文化芸術まちづくり条例を施行し、これに基づき平成28年3月に「自由都市堺文化芸術推進計画」を策定した。同計画では、「文化芸術を活用した社会的課題の解決」と「次代を担う子どもたちを対象とした文化芸術事業の充実」を重点的方向性と定め、計画の目標である「自由で心豊かな市民生活の実現」「都市魅力の創造」の実現に向けた取り組みを進めるものとしている。 平成31年秋の開館に向けて現在建設を進めるフェニーチェ堺は、市の中枢文化施設としての役割を担うため、管理運営においては専門性の高い人員体制を構築し、長期的な視点を持ち、上記計画に定める目標達成に向けた事業を展開する 	<ul style="list-style-type: none"> 関係法令を遵守しつつ、市が策定している「自由都市堺文化芸術推進計画」に掲げる重点的方向性の「文化芸術の力を活用した社会的課題の解決」と「次代を担う子どもたちを対象とした文化芸術事業の充実」に沿った事業展開を行う。 堺市の文化芸術の中心拠点となるフェニーチェ堺の円滑な管理運営及び魅力のある多彩な事業展開を図る。 堺市における文化政策の推進母体に相応しい人材確保と人材育成を図り、長期的で安定した組織体制の整備を図る。 自主財源の確保により、自律的経営基盤の構築を図り、良好な財務体質を実現する。

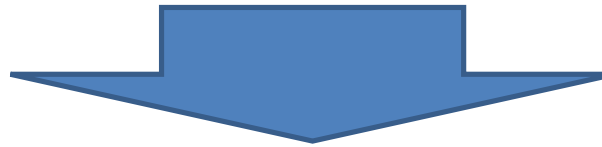
4. 中期経営目標(平成30年度～平成32年度)

中期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた文化芸術の鑑賞機会の提供や市民の文化芸術活動への支援を行うとともに、次代の文化芸術を担う人材を育成する。 ・市民の宝、堺のシンボルとなるフェニーチェ堺のグランドオープンに向け、機運醸成事業やプレ事業を展開し、こけら落とし公演やオープニング公演に繋げ、フェニーチェ堺としてブランドを確立する。 ・堺市における文化施策の推進母体として、関係法令等を遵守し、長期的で安定した組織体制とするため、多様な分野での専門的な人材の確保及び人材育成を図り、持続発展可能な組織体制を構築する。 ・戦略的な広報営業活動によって、寄附制度及び協賛制度のより効果的な発信を行うことで、積極的な自主財源の確保を図る。
	所管局意見【所管局】

・堺市における文化施策の推進母体として、専門性を高めるとともに、持てるノウハウやネットワークを活用した事業の実施により、外郭団体としての存在意義を更に高めていただきたい。

・フェニーチェ堺の開館前および開館当初の効果的な事業展開や、開館後の適切かつ安定的な運営を継続していくための組織体制と経済基盤を整備していただきたい。

・文化芸術を活用して社会的課題の解決につなげるための仕組みの導入を検討し、その仕組みの中心的な実施主体として市やさまざまな団体と連携しながら活動を推進していただきたい。



5. 中期経営方針

中期経営方針	平成30年度方針	平成31年度方針	平成32年度方針
	<ul style="list-style-type: none"> ・寄附制度及び協賛制度の円滑な運用による自主財源を確保。 ・平成31年度からの文化館の管理運営を見据え、適切な人材確保及び人材育成を図る。 ・フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)の開館に向けて、魅力あるプレ事業を堺市内外で実施し、新ホールへの期待感と認知度をあげる。 ・情報誌とホームページをリニューアルし、フェニーチェ堺のPRを積極的に行うとともに財団の情報発信力を高める。 ・事業実施後に適切な事業評価を行い、事業への反映や見直しにつなげる。 ・地域の文化資源を活かしたアウトリーチ事業など子ども達への普及型事業の実施。 ・新進アーティスト育成型事業等は内容に工夫を加えさらに充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的な広報や営業活動による安定的な自主財源の確保。 ・平成32年度からの文化会館の管理運営を見据え、適切な人材確保及び人材育成を図る。 ・フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)の開館年度であり、全スタッフの習熟訓練を含む直前準備を遅滞なく計画的に実施していくとともに、こけら落とし公演・オープニング事業をスムーズに実施することとする。 ・費用対効果を明確にした事業の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公益性が高く安定的な法人経営を実現し、文化施策の推進母体として事業展開することで、地域における文化芸術の振興と地域の活性化に寄与。 ・フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)においては、通年事業の年度であり、事業のシリーズ化の検討や貸館PR、施設の維持管理を適切に遂行していく。

6. 特記事項

特記事項【所管局】	
-----------	--